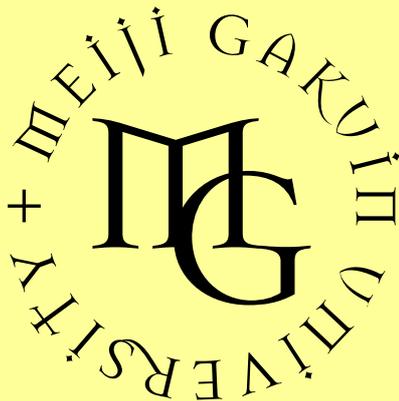


2020年度

明治学院共通科目ガイダンス

【グローバル法学科用】



主催：明治学院大学 教養教育センター

1. 大学カリキュラムの基礎知識

明治学院大学のカリキュラムは、教養教育センターが中心となって提供する科目群（明治学院共通科目）、学部・学科が提供する科目群、教職課程が提供する科目群から成り立っています。

(1) 明治学院共通科目

教養教育センターと学部・学科が協力して、全学部・全学科生を対象に提供している科目群

(2) 学科科目・学部共通科目

各学部・学科が、主としてそこに所属する学部・学科生に提供している科目群

(3) 教職科目（※グローバル法学科には教職課程は開設されておりません。）

教職課程が、教育職員免許状の取得を希望する学生に提供している科目群



2. 「明治学院共通科目」について

(1) 人材養成上の目的・教育目標

明治学院共通科目による教養教育は、世界に生起する諸問題について、他者との共生をめざし柔軟かつ誠実に対処することのできる市民的教養を有する人材の養成を目的としています。そしてその実現のために、言語系科目と諸領域科目の教育が連携し、多様な思考力と表現力を養成するための総合的な教育を推進しています。

言語系科目の教育においては、コミュニケーション能力の向上と言語を育んできた自他の文化への理解を深め、自律的な学修態度を身につけることを教育目標としています。また、諸領域科目の教育においては、専門的知見の修得を通して、問題を的確に理解するための読解力や分析力、問題解決のための多面的な思考力を身につけることを教育目標としています。

(2) 期待される学修成果

学生は、所定の単位を修得することにより、次の態度、知識、能力を身につけることが期待できます。

- 1) 建学の精神を理解し、多様な価値観を尊重しつつ、社会参加を通して他者への貢献を志向する態度
- 2) 幅広い学問分野の基礎知識を有し、現代社会が抱える諸問題に対して多面的に捉え、的確に価値の判断を行う能力
- 3) 自ら発見した課題について、幅広い知見に基づいて、その解決策を適正かつ明確に提示する能力
- 4) 他者とのコミュニケーションに必要な能力を身につけ、生涯にわたってそれを伸展させるための自律的学修をつづける態度

(3) 教育課程の編成および実施に関する方針

明治学院共通科目は「外国語科目群」と「諸領域科目群」から構成されています。

1) 外国語科目群：

英語・フランス語・中国語・ドイツ語・スペイン語・ロシア語・韓国語・アラビア語・タイ語・ギリシア語・ラテン語・日本語（※日本語は留学生科目）を学ぶことができます。各言語によるコミュニケーション能力の向上と、その言語を育んできた文化を理解するための科目群です。基礎から応用段階まで各言語の自立的学修が可能となるようにカリキュラムが組まれています。上級者向けの発展的科目や異文化理解・多文化理解のための科目も多く設置されています。

2) 諸領域科目群：

人文科学、社会科学、自然科学、情報処理、健康・スポーツ科学、総合教育の各科目群から構成され、広範な学問分野を学ぶことができます。演習形式の発展的科目や交換留学生と一緒に英語で学ぶ科目などもあり、現代世界が直面している諸問題に対処するための総合的教養を身につけることができる様々な科目が設置されています。

3) 履修形態・授業形態等による分類：

明治学院共通科目は、各科目の履修形態や授業形態、授業特性などの違いによって、次の5つの群に分類されています。

- C群科目： 必修・選択必修科目群（※グローバル法学科のC群の初習外国語は自由選択科目）
- D群科目： 各学問分野・領域に関する講義を中心とした科目群（自由選択科目）
- E群科目： 実験・実習・演習形式による比較的少人数制の科目群（自由選択科目）
- H群科目： 2年次生以上を対象とした演習形式の発展的科目群（自由選択科目）

※「アジア・日本研究A・B」、「現代科学研究A・B」、「現代社会研究A・B」は3年次以上に配当

- I群科目： 交換留学生と一緒に英語で学ぶ科目群（自由選択科目）

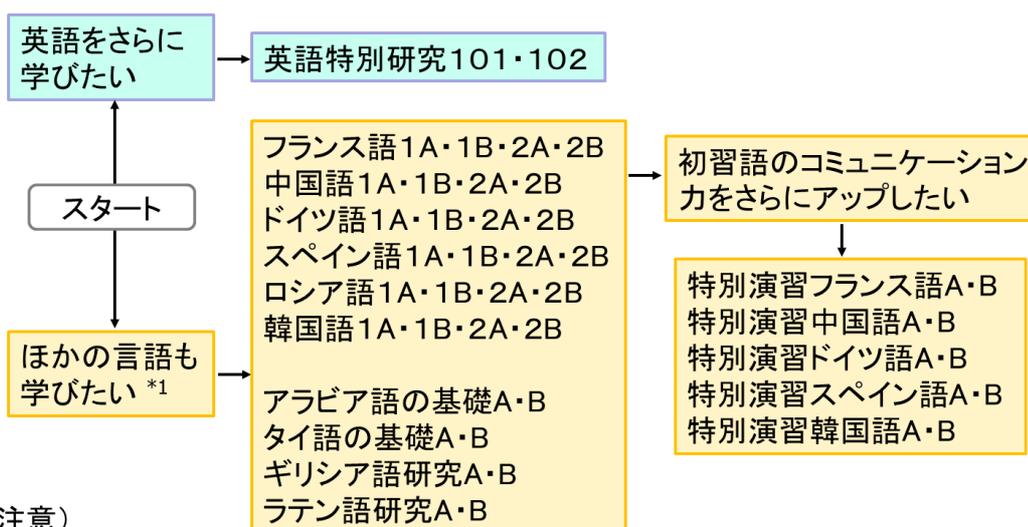
※ I群科目の履修を希望する学生は一定以上の英語力を持っている必要がありますが、横浜で開講される科目は1年次生でも履修できるように工夫されています。興味のある人は積極的に履修しましょう。なお、履修希望者は必ず第1回目の授業に参加して教員から履修許可を受けてください。

■明治学院共通科目 開講科目一覧（グローバル法学科用カリキュラム）

【外国語科目】

◎：必修科目 △：選択科目 ○：留学生要求科目 ▽：留学生のみ選択可能科目

	1000(1年次～)	2000(2年次～)	3000(3年次～)
英語	◎ 英語コミュニケーション1A・1B ◎ 英語コミュニケーション2A・2B △ 英語特別研究101・102	△ 英語研究1A △ 英語研究2A	△ 英語研究3A・3B
フランス語	△ フランス語1A・1B △ フランス語2A・2B △ 特別演習フランス語A・B	△ フランス語研究1A △ フランス語研究2A	△ フランス語研究3A・3B
中国語	△ 中国語1A・1B △ 中国語2A・2B △ 特別演習中国語A・B	△ 中国語研究1A △ 中国語研究2A	△ 中国語研究3A・3B
ドイツ語	△ ドイツ語1A・1B △ ドイツ語2A・2B △ 特別演習ドイツ語A・B	△ ドイツ語研究1A △ ドイツ語研究2A	△ ドイツ語研究3A・3B
スペイン語	△ スペイン語1A・1B △ スペイン語2A・2B △ 特別演習スペイン語A・B	△ スペイン語研究1A △ スペイン語研究2A	△ スペイン語研究3A・3B
ロシア語	△ ロシア語1A・1B △ ロシア語2A・2B	△ ロシア語研究1A △ ロシア語研究2A	△ ロシア語研究3A・3B
韓国語	△ 韓国語1A・1B △ 韓国語2A・2B △ 特別演習韓国語A・B	△ 韓国語研究1A △ 韓国語研究2A	△ 韓国語研究3A・3B
日本語	○ 日本語1A・1B ○ 日本語2A・2B	▽ 日本語研究1A ▽ 日本語研究2A ▽ 日本語研究3A・3B	
西洋古典語研究 および「〇〇語の基礎」	△ ギリシア語研究A・B △ ラテン語研究A・B △ アラビア語の基礎A・B △ タイ語の基礎A・B		



(注意)

*1 履修を希望する場合は、春学期授業開始前に教養教育センターに申し出ること。
(※アラビア語、タイ語、ギリシア語、ラテン語は自由に履修可能。)

1年次に必修科目以外の外国語科目を履修するためのフローチャート

Guidance on MGU Core Curriculum

【諸領域科目】

◎: 必修科目 △: 選択科目 ▽: 留学生のみ選択可能科目

	1000(1年次～)	2000(2年次～)	3000(3年次～)
人文科学系科目	◎ キリスト教の基礎A・B △ キリスト教の諸相1～8 △ 宗教史3, 4, 7, 8 △ 哲学1～6 △ 倫理学1～6 △ 論理学1～6 △ 心理学1～4, 7, 8 △ 教育学1～2 △ 芸術学1～6 △ 日本文学1～8 △ ヨーロッパ言語圏の文化入門1～6 △ アジア言語圏の文化入門1～4 △ 日本文化論1～8 △ ヨーロッパ言語圏の文化各論1～6 △ アジア言語圏の文化各論1～4		
社会科学系科目	△ 政治学1～2 △ 社会学1～8 △ 社会福祉学1～2 △ 経済学1～2 △ 統計学1～4 △ 歴史学1～8 △ 地理学1～6 △ 文化人類学1～2 △ 社会科学概論1～4		
自然科学系科目	△ 数学1～6 △ 物理学1～6 △ 化学1～5 △ 生物学1, 3～7 △ 物理学方法論A・B △ 化学方法論A・B △ 生物学方法論A・B △ 情報科学1～4		
健康・スポーツ科学系科目	△ 健康科学1～2 △ スポーツ科学1～2 △ スポーツ方法学1～4 △ シーズンスポーツ研究1A・1B △ シーズンスポーツ研究2A・2B △ シーズンスポーツ研究3A・3B		
総合教育系科目	△ 現代世界と人間1～3, 5～7 △ 明治学院研究1～3 △ 環境学1～6 △ ボランティア学1～8 △ ボランティア特別研究101 △ ボランティア特別研究102 △ ボランティア実習101 △ ライフデザイン講座1 △ 現代平和研究1～3	△ オルガン実習1～2 △ ライフデザイン講座2 △ キャリアデザイン1	△ ライフデザイン講座3～4
情報処理科目	◎ コンピュータリテラシー1～2 △ コンピュータリテラシー研究1A・1B △ コンピュータリテラシー研究2A・2B		
特別学科科目	△ 社会学概論A・B		
レポートライティング科目	△ アカデミックリテラシー研究1～2		
海外インターンシップ関連科目	△ 海外インターンシップ課題研究A・B △ 海外インターンシップA・B		
留学生関連科目	▽ 日本の社会と文化1A・1B ▽ 日本の社会と文化2A・2B ▽ 日本の社会と文化3A・3B △ 異文化コミュニケーション研究A・B		
発展的科目		△ ボランティア・市民活動研究(国内)	△ アジア・日本研究A・B △ 現代科学研究A・B △ 現代社会研究A・B
留学生とともに英語で学ぶ科目	△ Japanese Arts and Culture 1～6 △ Japanese History 1, 2, 5, 6 △ Japanese Society 1～6 △ Multilingualism and Multiculturalism 1～4 △ Current Issues 1～4		

3. 「アカデミックリテラシー研究1」の履修について

I. 授業内容

「アカデミックリテラシー研究1」は、大学でのレポートや論文の執筆に必要な基本的技術を身につけるための、1学期完結のコースです。定員15名の少人数指導で、ライティング課題の添削を軸に、技術の確実な定着を目指します。この科目で学ぶ思考の方法は問題発見に役立ち、ものごとを考える際、間違いを生じにくく、主張の説得力を高めるため、卒業後の仕事や社会生活にも広く役立ちます。

A ゴール

学問的な文章を書く上で大切なのは、**根拠を示して問いにこたえる「論証」**です。この科目では、全新入生に配布する教科書『アカデミック・ライティング・ハンドブック』を用い、文献資料や調査データを根拠とする論証のパターンを学び、主に次のスキルにつき、大学生として恥ずかしくないレベルを目指します。

- 1 簡潔な主張をもつ段落を単位とする、論文の書き進め方 (paragraph writing)
- 2 既存の研究を自分の言葉と区別し、効果的に示す作法 (引用と出典表示)
- 3 様々なデータベースを用い、情報を集める方法 (資料検索)
- 4 自分の文章を批判的に手直しし、ムダなく読みやすい表現にする方法 (推敲)

B 授業

教室内での作業で、ディスカッションなどを通して資料を消化し、レポートで取り上げるべき問題を見つけ、議論の組み立て方を身につけます。全員が同じ配付資料を用い、一学期の間ひとつのテーマを論じます。好きなテーマについて勝手なスタイルで書けるわけではありません。以下は授業回数を目やすです。

- | | |
|-----------------------------|----|
| 1 スキル (上記 A の1~4) の理解のための実習 | 7回 |
| 2 テーマや資料を理解し、消化するための実習 | 4回 |
| 3 個別指導 (コンサルテーション) を中心とする指導 | 3回 |
| 4 オリエンテーション、そのほか | 1回 |

C 課題

上にあげた4つのスキルを身につけるため、宿題として (書き直しをふくめ) **平均 2週に1度ほどの頻度でレポートを提出し**、うち4回ほど添削指導をうけます。500字程度からはじめ、「ファイナル・レポート」(4,000字程度)を書くまでに、テーマをよく理解し、長めのレポートが書けるよう計画されています。

過去の調査によれば、平均的履修者は提出物ひとつあたり執筆に4~5時間かけていますが、**それに見合うスキルを得た**と感じています。ただし、添削指導のあるほかの科目との同時履修や、アルバイトやサークル活動などについても慎重に考慮した上で履修してください。

科目名「アカデミックリテラシー研究1」について

「アカデミックリテラシー研究1」は、グローバル法学科以外の学科の2018年度入学生から適用されるカリキュラムでは、「アカデミック・ライティング演習1」と改称しました。したがって、同じ教室に新旧カリキュラムのふたつの科目名の履修者が混在することになりますが、両科目は、指導内容や評価基準などまったく同一です。なお、旧カリキュラムにはない新設科目である「アカデミック・ライティングの基礎」は、グローバル法学科には配当されていません。

II. 履修手続き

1. 事前申込み・抽選制度

「アカデミックリテラシー研究 1」の履修希望者は、明治学院共通科目ガイダンス当日の所定の時間までに 横浜校舎 1 号館（※教務課や学生課がある建物）3 階に設置した箱に「事前申込み用紙」を提出し、抽選を受けてください。これは、例年希望者が定員を上回るための措置です（※なお、ガイダンスが実施できない場合の申込み期限・方法等は大学 Web サイトあるいは教養教育センターHP にて告知します）。

2. 事前申込み用紙（※ガイダンスが実施できない場合は Web サイトでの申込みになる可能性があります。）

「事前申込み用紙」には、氏名、学籍番号、所属学科、履修希望曜時限（第 1 希望および第 2 希望）を指示の通り記入します。個々に確認・訂正する時間がないため、誤記のあるものは失格とします。

履修希望曜時限を選ぶ際、各学科が指定する必修科目と重複する曜時限（または必修科目が今後振り当てられる可能性のある曜時限）には、絶対に申し込んではいけません。各自持参した時間割にもとづき、「事前申込み用紙」裏面の「要注意曜時限リスト」もチェックした上で、記入してください。

この科目では、いったん登録すると登録期間 B、C や履修中止期間における履修取消、変更、履修中止などは認めず、出席・提出物ゼロでも、成績証明書に「D」（不合格）評価がつき、GPA に反映されます。

以下の 8 つの曜時限枠に開講します。この中からひとつを選択して申し込んでください。

	月曜 4 限	月曜 5 限	木曜 4 限	木曜 5 限
春学期	3 クラス（計 45 名）	3 クラス（計 45 名）	4 クラス（計 60 名）	3 クラス（計 45 名）
秋学期	4 クラス（計 60 名）	3 クラス（計 45 名）	5 クラス（計 75 名）	4 クラス（計 60 名）

3. 抽選結果の発表と履修登録

当選者とクラス割りは、春学期・秋学期クラスとも春学期の授業開始までに、学生用ポータルサイト「Port Hepburn」にて、学籍番号により発表します。なお、当選者の「アカデミックリテラシー研究 1」の履修登録は教務課が代行するので、この科目について学生自身による「Web 履修登録」は不要です。各自確認の上、指定された担当者の初回授業に必ず出席してください。

4. 「アカデミックリテラシー科目」相談デスク（※ガイダンスが実施できない場合は中止の可能性あり。）

明治学院共通科目ガイダンス当日、履修相談会場に「アカデミックリテラシー科目」デスクを置きます。なお、学科が指定する必修科目などについては、各自確認してください（※履修登録状況は、図書館または Y'ins の PC 端末からも、「Port Hepburn」の「履修登録確認表」で確認できます）。

※実施する場合、日時・会場等については大学 Web サイトあるいは教養教育センターHP にて告知します。

【警告】この科目に限らず、大学ではウェブ上の情報を含め、他人の文章やアイデアを自分の名前で発表すること（剽窃）は、不正行為とみなされ、学生の身分にかかわる処分の対象となります。この科目では不正行為の防止のため、自身のレポートの取り扱いなどについて、何が許され、何が許されないかの規準を示し、これに従うことを初回授業で宣誓させます。

4. 「ボランティア・市民活動実習プログラム／ボランティア特別研究プログラム」の履修について

- 「ボランティア・市民活動実習プログラム／ボランティア特別研究プログラム」は、1年間で1サイクルとする科目です。ボランティア・市民活動を教室だけでなく、国内各地のボランティア・市民活動の現場で実践的に学ぶことを核とする科目群から成り立っています（※科目の概要については「明治学院共通科目ガイドブック」、および各授業のシラバスを参照ください）。

担当	2020 春学期	2020 夏休み	2020 秋学期
猪瀬浩平 長谷部美佳	ボランティア特別 研究 101	ボランティア実習 101	ボランティア特別 研究 102

- このプログラムに参加したいと考えているみなさんは、春学期に開講される「ボランティア特別研究 101」をまず履修します。これは、ボランティア実習を行うための事前準備の授業です。この授業では、①ボランティアや市民活動をめぐる基礎知識や実習先で行う活動（インタビューなど）のスキルを学ぶとともに、②教員と相談しながら自分の実習先やテーマを決めます（テーマの例：「地域創生のNPOで活動し、空き家対策の課題と解決アプローチを学ぶ」／「アートという切り口でマイノリティの社会参加の可能性を考えるため、障害者アートに長年取り組んできた団体で活動し、障害当事者やスタッフに話を伺う」など）。
机に座って聞いているのではなく、ディスカッション・発表・調査・交渉などアクティブラーニング形式の授業になります。
- 「ボランティア実習 101」は、夏休みを利用したインターン形式の授業です。国内のボランティア市民活動団体（環境、障害者支援、若者就労支援、キャリア教育、多文化共生など）で2週間活動し、自身が設定したテーマについての学びを深めます。
- 「ボランティア特別研究 102」は、夏休みの実習の成果を大学の学びと結び付けるため、教員や他の履修者とのディカッション、文献講読、実習先への追加調査などを行う授業です。最終的に、プログラムの成果をプレゼンテーションと報告書にまとめます。

《重要事項》

- 「ボランティア・市民活動実習プログラム／ボランティア特別研究プログラム」は、猪瀬浩平クラス（春学期・秋学期ともに金曜4限）と、長谷部美佳クラス（春学期・秋学期とも木曜2限）の2クラス開講されます。
- このプログラムは履修者の選抜を行います。希望するクラスの「ボランティア特別研究 101」の初回授業に必ず出席してください。ここで書くレポートをもとに、履修者を選抜します。初回授業に臨む前に、各クラスのシラバスを熟読し、授業や実習の内容、注意事項について確認してください。選抜結果は初回授業の翌日13時30分までにポータルページで告知します（※なお、授業開始時期がかなりずれ込んだ場合は、選抜方法が変更になる可能性がありますので、新入生向け Web サイトや教養教育センターHP をよく確認してください）。

- 「ボランティア特別研究 101」で履修が認められた場合は、「ボランティア実習 101」、「ボランティア特別研究 102」も履修することになります。初回授業に参加する前に、秋学期も履修可能であること、必修科目とかち合っていないことを確認してください。すべての科目について、履修登録は選抜結果を踏まえて、教務課が行います。みなさんが自分で履修登録をすることはできません。また、一旦履修登録をされると、担当教員の許可なしにはキャンセルをすることができませんので、注意してください。

※今般の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、授業内容（履修者選抜方法・実習内容を含む）が大幅に変更となる可能性があります。変更が生じる場合は大学の新生向け Web サイトや教養教育センターHPなどで告知しますので、履修を検討している学生はよく確認するようにしてください。

5. 秋学期の「基督教の基礎 B」の履修について

「基督教の基礎」は、春学期（A）と秋学期（B）それぞれ 2 単位、年間を通じて 4 単位分を履修する全学必修科目です。新生の皆さんが受講する授業は、春学期についてはあらかじめ決められていますので、初回の授業に出席する前にシラバスをよく読んでおきましょう。

秋学期については、春学期とは異なる視点から「聖書」や「基督教の歴史・文化」を学びたいなどの積極的な理由があれば、春学期とは異なる教員が担当する授業を履修することも可能です。ただし、他の必修科目との重複がないことが条件となります。秋学期に春とは異なる教員の授業を履修する場合の具体的な方法については、教務課の掲示をよく確認し、間違っても履修漏れがないように注意してください。

6. 時間割作成の手順について

まず、必修科目と選択必修科目の時間割表を作成します。次に、それらと重複しない曜時限に選択科目を選び、入れていきます。

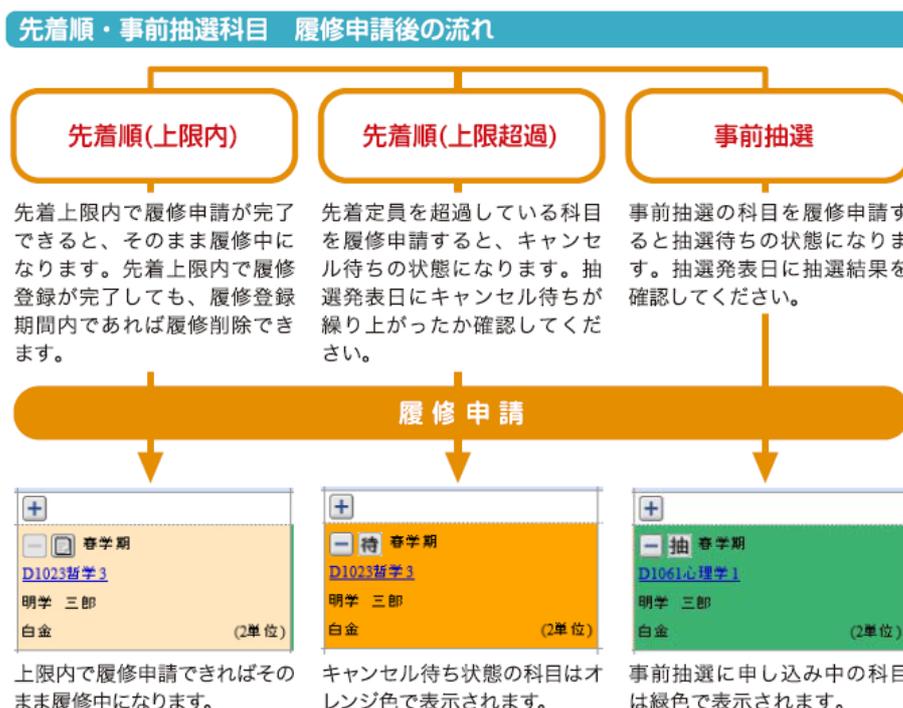


7. 明治学院共通科目の履修登録について

原則として 教務 Web 上で授業開始前から申込み形式 となります。(※ただし、一部の科目は初回授業時に履修者を決定します。教務 Web だけでなく、履修を希望する科目のシラバスの「備考」欄や、別途配布される「履修の手引き」等もよく確認してください。)



- 「先着順（上限内）」の科目： 申込みとそのまま履修登録となります。
- 「先着順（上限超過）」の科目： 申込みと、いわゆる「キャンセル待ち」の状態となります。
- 「事前抽選」の科目： 抽選申込期間内に申込みます。締め切り後に抽選をおこなって履修者を決定します。



8. 時間割作成上の注意

- (1) 時間割作成後、年間履修上限単位数をオーバーしていないかを必ず確かめてください。
※年間履修上限単位数は学科によって異なります。なお、グローバル法学科は年間 48 単位が上限です。
- (2) 許可制の科目で、担当教員から履修を許可された後に教務課が履修登録を行う授業については、皆さんが履修登録を行う時点では、まだ「Web 履修登録画面」には反映されておらず、空欄のままとなっています。履修を許可された者は、その空欄に他の科目を入れないように注意してください。
※履修登録確認日（後日、ポートヘボン等で告知します）に、正しく履修登録されているかを必ず自分自身で確認してください。
- (3) 授業に出席し、履修登録した（あるいは履修を希望する）科目と担当教員が正しいことを確認してください。
- (4) 履修登録のミスは自己責任となるので注意してください。

9. 「明治学院共通科目」履修相談会について

（※ガイダンスが実施できない場合、履修相談会は中止になる可能性があります。）

この冊子に掲載されている内容のほか、「明治学院共通科目」全般に関する質問を受け付けます。

- ・日時：大学 Web サイトまたは教養教育センターHP にて告知します。
- ・場所：横浜校舎 1 号館 3 階（※教務課や学生課のある建物の 3 階）